

大日向中学校

2023 年度学校評価資料

2024 年 3 月

教職員（回答数11）	今年度	昨年度	比較
1. 学校の理念や方針について			
（1）学校の理念や教育方針が明確に言語化されている	3.5	4	-0.5
（2）学校の理念や教育方針が伝えられている	3.3	3.3	0.0
2. 学校運営について			
（1）イェナプランにのっとりた学校運営がなされている	3.3	3.7	-0.4
（2）一条校としての学校運営がなされている	4.0	3.4	0.6
（3）スタッフ間の対話をベースにした学校運営がなされている	3.7	3.9	-0.2
（4）生徒同士で話し合った内容や提案が学校運営に反映されている	3.3	3.4	-0.1
（5）保護者同士で話し合った内容や提案が学校運営に反映されている	3.2	3	0.2
3. 学校生活について			
（1）生徒は異学年で積極的に関わり合っている	4.1	4.2	-0.1
（2）生徒一人一人の意見が尊重されている	4.0	3.9	0.1
（3）学校は個に応じたニーズに対応できている	3.5	3.8	-0.3
（4）生徒同士のトラブルや悩みにすぐに対応できる体制が整っている	3.4	4.1	-0.7
（5）いじめや事故などの重大案件にすぐに対応できる体制が整っている	3.0	3.8	-0.8
4. 学習について			
（1）生徒は学びに必要な知識を身につけている	2.8	2.6	0.2
（2）生徒は学習の目的ややることを明確に理解している	3.0	2.7	0.3
（3）生徒は豊富な選択肢から選んで学ぶことができる	3.3	3.2	0.1
（4）生徒は自分に合ったやり方やペースで学習に取り組んでいる	3.6	3.7	-0.1
（5）学校は生徒が自分で進路を選択し、努力することをサポートしている	3.8	3.9	-0.1
5. 保護者・地域との連携について			
（1）学校は教育内容を保護者や地域に伝えている	2.9	3.2	-0.3
（2）学校はHP等を通して積極的に情報発信をしている	2.5	2.9	-0.4
（3）学校は保護者・地域と連携して教育活動にあたっている	3.3	3.2	0.1
生徒（回答数23）			
1. 学校の理念や方針について			
（1）学校の理念や教育方針が明確に言語化されている	3.8	3.1	0.7
（2）学校の理念や教育方針が伝えられている	4.0	3.1	0.9
2. 学校運営について			
（1）イェナプランにのっとりた学校運営がなされている	3.8	3.6	0.2
（2）子ども同士で話し合った内容や提案が学校運営に反映されている	3.3	3.2	0.1
3. 学校生活について			
（1）異学年で過ごす良さが生かされている	4.1	3.9	0.2
（2）子ども一人一人の意見が尊重されている	3.7	3.2	0.5
（3）学校は子ども一人一人のニーズに対応できている	3.4	3.1	0.2
（4）学校は子ども同士のトラブルや悩みにすぐに対応してくれる	3.7	3.1	0.5
（5）困ったことや心配ごとがあった場合の相談先が分かりやすく知らされている	3.4	2.9	0.5
4. 学習について			
（1）授業を通して必要な知識・スキルを身につけることができる	3.9	3.9	0.0
（2）学習の目的ややることが明確に示されている	4.0	3.2	0.7
（3）学び方や学ぶ内容が選べるように、いくつもの選択肢が示されている	3.6	3.3	0.3
（4）自分に合ったやり方やペースで学習に取り組んでいる	4.2	4.0	0.2
（5）自分で進路を選択するためのサポートがある	3.9	3.3	0.5
5. 保護者・地域との連携について			
（1）地域と連携して学ぶ機会がある	3.5	2.9	0.6
保護者（回答数14）			
1. 学校の理念や方針について			
（1）学校の理念や教育方針が明確に言語化されている	4.2	3.6	0.6
（2）学校の理念や教育方針が伝えられている	4.1	3.4	0.7
2. 学校運営について			
（1）イェナプランにのっとりた学校運営がなされている	3.6	3.3	0.3
（2）保護者同士で話し合った内容や提案が学校運営に反映されている	3.4	3.0	0.4
3. 学校生活について			
（1）異学年で過ごす良さが生かされている	4.2	3.8	0.4
（2）子ども一人一人の意見が尊重されている	3.6	3.6	0.1
（3）学校は子どもの個に応じたニーズに対応できている	3.6	3.6	0.1
（4）学校は子ども同士のトラブルや悩みにすぐに対応している	3.8	3.6	0.2
（5）学校の安全管理体制（いじめや事故が起こった場合の対応）は整理され、周知されている	2.9	3.1	-0.2
4. 学習について			
（1）子どもは中学生として必要な知識や技能を身につけている	3.6	2.8	0.7
（2）学校は子どもが自分で進路を選択し、努力することをサポートしている	3.6	3.5	0.1
5. 保護者・地域との連携について			
（1）学校は教育内容を保護者や地域に伝えている	3.6	2.8	0.8
（2）学校はHP等を通して積極的に情報発信をしている	3.3	3.4	-0.2
（3）学校は保護者・地域と連携して教育活動にあたっている	3.5	3.1	0.4

学校に対する意見をご自由にお書きください。

（教職員）

中学校が開校して2年目、少しずつ体制が整えられてきています。それでも、カウンセラーとの連携や、「何年後の子どもたちが、どんな姿になってほしいか」等ついてなど、まだまだ課題（築かれていないこと）がたくさんあって、その事柄を1つ1つ解決していきながら、中等教育学校のことも短い時間で同時に進めていかねばならないので、すごく大変だなと思っています。また、保護者への学校からの発信（ブランブラン）のツールがあまりみられていないことも多く、連携が難しいなと悩んでおります。
イエナプランがコンセプトであるが故に、スタッフ間、対子ども、対保護者、それぞれ視座(何のために)を合わせていく努力が必要なのだろうなと実感する日々ですが、それが中々難しい状況なように思います。でも、できていることもたくさんあるので、そういったことも発信していけたら良いなあと感じています。建学の精神や大切にしている3つのことに戻って学校運営、学級経営が伸び伸びとできるようになると良いなと感じています。
まだ2年目の新設校なので、伸び代はたくさん。言い方を変えると不十分だと感じるころはたくさん。それをもっと良くしたいと願う行動する職員ばかりで尊敬しています。同僚が安心して働けるような環境やシステムが早急に必要だと感じています。余白、ほしいです。
(生徒)
給食でもっと頻繁に、餃子とラーメンを出してほしい。
不満を共有する場所を作って欲しい
もっと生徒や保護者の声が反映されるといい
イベントを増やしてほしい
体育館のスピーカー動かすのにアンプ買ってください
校外学習がもう少ししたいな~
少し足りない物が欲しい。ドラムやグローブなど
外を充実させたい。(中庭)
進路が不安だが、サークルで話すのも個人で話すのも自分にあまり合わないと思った
「共に生きる」が「一緒に過ごす、取り組む」になっていて、広がりや深さを感じられない。任せると押し付ける、自由にすると放っておく、やりたいことのためになると、これらを区別して使ってほしい。人に迷惑をかける人をかけない人と同様に扱わないでほしい。できないことを強制しないのは良いけど、限度を超えていると思うことが多々ある。感じ悪いかもしれないけど結局なくなったじゃん。校舎が狭い。立地が悪い。通常の授業を受験勉強に当られることに感謝。
(保護者)
何よりも子どもが楽しそうに通っているということで満足しています。評価だけ見れば辛口のように感じるかもしれませんが、理念等解釈の余地をあえて残しているだろう箇所を言語化できるとは言えません。保護者同士の交流は学校主体というより、本来保護者が主体にならなければいけないところ、むしろ私たちの反省点です。地域との連携はもう少し自然地理等にも視野を広げて行ったり、地元の方との交流の機会があれば良いな、と思います。
指導者によって指導内容が異なる事があり、受け取る側として困惑することが時折あるようです。特にじっくり話し合う余裕の無い時は、未解決のまま終わってしまうので消化不良になってしまう様です。本人にはこちら側から問題提起をするよう促しています。
今日子どもが入学して、初めて「学校って楽しい！この学校に通わせてくれてありがとう」と言ってくれました。先生方が色々なイベントや楽しい授業、一人一人に寄り添って下さったお陰だと思います。その言葉を聞けて、私もこの学校で本当に良かったと思いました。ありがとうございます。
子どもの自主性を大切に風土を大切にしている点と、それを実践しようとする方向性はとても伝わってきます。一方で、社会にいきっていく上での協調性、社会性、適応力についての実践が今一つ伝わらない気がします。自然に身につけることが難しい子どもや、家庭内での教育方針の違いなど、難しい部分はあると思いますが、社会にでていく子ども達に対して身に着けておくべき社会性を学校としてどのように考え、伝えていくか（それを教えるのも学校の魅力になると思います）を検討して頂ければと思います。
いつもありがとうございます。 子どもが思春期になり、学校のことをあまり話さなくなったので、教職員のみなさんがSNSやslackで日々の様子を配信してくださるのを楽しみにしています。 私自身ももう少し学校と関われるようにしていきたいと思っています。
いつもありがとうございます。子ども達が本音を言えて、次に向かえるような関係やキッカケを作っていってもらえたらありがたいです。
子供たちの個性やペースに寄り添い、丁寧な教育をして頂きありがとうございます。学期ごとに確かに成長している子供の姿をみるにつけ、健全な成長ができてい事に喜びを感じています。チャレンジの多いプログラムと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。
いつもありがとうございます。すみません アンケート遅くなりました

大日向中学校 2023 年度学校評価

【校長による自己評価】 2024.2.22 長沼

1. 昨年度の評価を踏まえた今年度の本校の取り組み

「学校経営においては、引き続きイエナプランスクールとしての基盤の確立に取り組む（2023 年度に日本イエナプランスクールの認定校となる予定）と同時に、建学の精神やイエナプランのコンセプトをわかりやすく生徒、保護者、教職員、地域の人々に伝えていく。

教育活動においては、学びの質を高めるため、生徒の実態に合わせて授業のあり方を抜本的に改善する。具体的にはブロックアワーのあり方やワールドオリエンテーションの内容・方法を再検討し、生徒が学ぶ喜び、達成感や自己肯定感を高められる方策を実践する。また、生徒指導面では教育相談の機能を確立させるとともに、個別支援のあり方を見直す。

保護者や地域の人々に対して、学校の取り組みをわかりやすく伝えるため、日常的な交流を深め、広報活動を強化する。」（2023.3.13 記）

2. 今年度の評価の分析

（1）全体の平均値

○教職員

昨年度平均値 3.50 今年度平均値 3.37 下降 0.13

○生徒

昨年度平均値 3.32 今年度平均値 3.73 上昇 0.41

○保護者

昨年度平均値 3.33 今年度平均値 3.69 上昇 0.36

(2) 高い評価（4.0 以上）を得た項目

○教職員

「一条校としての学校運営がなされている」 4.0 （昨年度 3.4）

「生徒は異学年で積極的に関わり合っている」 4.1 （昨年度 4.2）

「生徒一人一人の意見が尊重されている」 4.0 （昨年度 3.9）

○生徒

「学校の理念や教育方針が伝えられている」 4.0 （昨年度 3.1）

「異学年で過ごす良さが生かされている」 4.1 （昨年度 3.9）

「学習の目的ややることが明確に示されている」 4.0 （昨年度 3.2）

「自分に合ったやり方やペースで学習に取り組んでいる」 4.2 （昨年度 4.0）

○保護者

「学校の理念や教育方針が明確に言語化されている」 4.2 （昨年度 3.6）

「学校の理念や教育方針が伝えられている」 4.1 （昨年度 3.4）

「異学年で過ごす良さが生かされている」 4.2 （昨年度 3.8）

(3) 低い評価（3.0 未満）を得た項目

○教職員

「生徒は学びに必要な知識を身につけている」 2.8 （昨年度 2.6）

「学校は教育内容を保護者や地域に伝えている」 2.9 （昨年度 3.2）

○生徒

なし

○保護者

「学校の安全管理体制（いじめや事故が起こった場合の対応）は整理され、周知されている」 2.9 （昨年度 3.1）

（4）昨年度と比較して上昇が顕著だった（0.6 以上）項目

○教職員

「一条校としての学校運営がなされている」 上昇 0.6（3.4→4.0）

○生徒

「学校の理念や教育方針が明確に言語化されている」 上昇 0.7（3.1→3.8）

「学校の理念や教育方針が伝えられている」 上昇 0.9（3.1→4.0）

「学習の目的ややることが明確に示されている」 上昇 0.7（3.2→4.0）

「地域と連携して学ぶ機会がある」 上昇 0.6（2.9→3.5）

○保護者

「学校の理念や教育方針が明確に言語化されている」 上昇 0.6（3.6→4.2）

「学校の理念や教育方針が伝えられている」 上昇 0.7（3.4→4.1）

「子どもは中学生として必要な知識や技能を身につけている」 上昇 0.7（2.8→3.6）

「学校は教育内容を保護者や地域に伝えている」 上昇 0.8（2.8→3.6）

(5) 昨年度と比較して下降が顕著だった（0.6 以上）項目

○教職員

「生徒同士のトラブルや悩みにすぐに対応できる体制が整っている」下降 0.7(4.1→3.4)

「いじめや事故などの重大案件にすぐに対応できる体制が整っている」下降 0.8(3.8→3.0)

○生徒

なし

○保護者

なし

(6) まとめ

学校評価アンケートの回答結果から、全体としては開校 2 年目の教育活動・学校運営について、教職員、生徒、保護者から、おおむね評価されていると言える。イエナプランスクールの理念に基づいた教育活動が一定程度効果を上げていることがわかる。昨年度と比較して上昇している項目が多く、特に生徒、保護者はほとんどの項目で上昇している。

一方、課題としては、教職員から見て学びの質保証、学校の教育活動を広報していくことが挙げられ、昨年度の課題にもなっていたことから改善が図られていない。また、安全管理体制についての項目の値が低下しており、今年度の生徒指導上の種々の案件への対応が課題となっていたことがわかる。

学校評価は校長の評価という言葉があるが、教職員から昨年度と比較してやや厳しい評価を受けたことは肝に銘じておきたい。

3. 今後に向けた取り組み（改善のための方策）

学校経営においては、引き続きイエナプランスクールとしての基盤の確立に取り組む（今年度は 2023 年 6 月に、中学校としては初の日本イエナプランスクールの認定校となった）。建学の精神やイエナプランのコンセプトをわかりやすく生徒、保護者、教職員、地域の人々に伝えていく。

教育活動においては、学びの質を高めるため、生徒の実態に合わせて授業のあり方の改善に引き続き取り組む。具体的にはブロックアワー、プロジェクト学習のあり方や、ワールドオリエンテーションの内容・方法を再検討し、生徒が学ぶ喜び、達成感や自己肯定感を高められる方策を実践する。また、生徒指導面では、種々の案件に対してチーム学校として対応できる体制を整備する。

中等教育学校の開設を約 1 年後に控えて、学習指導・生徒指導両面の質的充実を図っていきたい。

【参考】

「大日向中学校 学校経営方針 2023」



大日向中学校 学校経営方針2023

2年目の飛躍（ステップ）に向けて

学校経営方針



建学の精神とイエナプラン20の原則、3種12のコア・クオリティに基づき、大日向中学校で大切にしている3つのことを基盤にしながら、大日向中学校に関わる全ての人が目指す6つの姿を実現できる教育活動をおこなう

建学の精神



誰もが、豊かに、そして幸せ
に生きることのできる世界を
つくる

イェナプラン20の原則



11 学びの場（学校）とは、そこにかかわっている人たちすべてにとって、独立した、しかも共同して作る組織です。学びの場（学校）は、社会からの影響も受けますが、それと同時に、社会に対しても影響を与えるものです。

コア・クオリティ



自分自身との関係

1.4 子どもたちは自分の発達に対してリフレクション（振り返って見直すこと）を学ぶ。またそれについて他の人と話し合うことを学ぶ。

大日向中学校で大切にすること （2023年度バージョン）



- ① 自立する（想像力を持ちながら働きかける）
- ② 共に生きる（脱・無関心！無関心ではありえない）
- ③ 世界に目を向ける（知らないものを知ろうとして自分の地図を拡げていく）

大日向中学校に関わる全ての人を目指す6つの姿



- ①自分の特性を活かしながら学ぶ
- ②自分自身の学びに責任を持つ
- ③年齢も考え方も違う集団の中で協働し、お互いに助け合いながら成長する
- ④集団の中の誰もが自分らしく生活できるように責任をもって意思決定に参加する
- ⑤自分自身の関心から生まれる問いに基づき自発的に学ぶ
- ⑥身近な自然や地域の人々との関わりといった実社会と地続きの学習環境の中で学ぶ

生徒（2023年度）



中3 4人（進級4）
中2 12人（進級11・転入1）
中1 15人（内部進学9・新入6）
計31人（FG2クラス）

具体的方策（2023年度）



- ① イエナプラン認定校としての基盤の確立
公立校でも可能なカリキュラムの模索
- ② 生徒の学びの質保証
生徒の実態に応じた学習形態の活用
- ③ 安心・安全な居場所としての機能の強化
自己肯定感を高める個別支援と集団づくり

- ④ 働きがいのある職場環境の整備
スタッフの自己実現と負担軽減
- ⑤ 共につくる学校の確立
生徒、保護者、教職員、理事、地域による
連携・協働の促進
- ⑥ 中等教育学校開設準備の促進
小中高12年を見通した教育のあり方を検討
- ⑦ 学校の魅力を発信する広報活動の強化
受験生の獲得（15人以上）



茂来学園の中期ビジョンから



- ①子どもも大人も「楽しい！」と思える学校
- ②創造する喜びに溢れる学校
- ③社会と共にある学校